

福玉便り

ふ く た ま だ よ り

2019年11月1日発行

通巻 第80号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

福玉相談センター 「出張相談会」 のお知らせ

①11月12日(火) 13:00~16:00

久喜市総合文化会館研修室2

(JR・東武鉄道久喜駅西口より徒歩約15分)

久喜駅西口より市役所行きの市内循環バスあり)

②11月19日(火) 13:00~16:00

ウェスタ川越(3階)研修室4

(JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分、

西武新宿線「本川越駅」より徒歩15分)

③12月3日(火) 13:00~16:00

男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室

(熊谷駅直結「ティアラ21」4階)

(福玉相談センター・薄井)

住宅のこと、家族の健康や介護のこと、これからの生活のこと等々、何か気にかかっていることはありませんか? 話をすることで少し不安を解消しませんか?

今年中に以下の3か所で相談会を開催しますので、ご都合のよい日や場所にお気軽にお立ち寄りください。埼玉県社会福祉士会などの専門家とともにお待ちしております。

一緒に考えていきましょう。

事前の予約は不要ですが、相談内容についての質問や場所の確認をなさりたい場合には、いつでもお電話ください。

☎0120-60-7722 (月~金曜日・午前9時~午後5時)



まずは、お気軽にお電話ください
相談員が丁寧にお話をうかがいます

福玉相談センター

相談ダイヤル: **0120-60-7722**

月~金曜日 9時~17時 *祝祭日はお休みです

*フリーダイヤルですので通話料の心配がいりません

●日時: 12月22日(日)

10:30~12:00 検査

13:30~15:00 お話

●場所: 埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)4階視聴覚セミナー

埼玉県さいたま市中央区新都心2-2

ホテルブリランテ武蔵野3・4階

JR京浜東北線、高崎線・宇都宮線「さいたま新都心駅」から徒歩5分

JR埼京線(各駅停車)「北与野駅」から徒歩6分

●お問い合わせ先: 福玉相談センター

☎0120-60-7722

(月~金曜日・午前9時~午後5時)

牛山先生のプロフィール... 神奈川県にある、さがみ生協病院の内科医として勤務。二男の母。原発事故後、被ばくによる健康影響を気にする母たちの声に応えながら、関東や福島県で甲状腺エコー検診を実施。ベラルーシで、現地の医師による甲状腺検診研修も経験。関東子ども健康調査支援基金協力医。2016年3月より、「3・11甲状腺がん家族の会」世話人を務め、現在は「3・11甲状腺がん子ども基金」顧問。

(福玉支援センター)

牛山元美先生による
甲状腺エコー検査とお話会

昨年度と同様に、今年も牛山先生と「甲状腺検診ちばの会」のご協力を得て、甲状腺エコー検診を行います。午前中に検査を行い、午後に牛山先生から最近の情報などを伺います。大人も子どももOKです。どちらかだけの参加でも構いません。参加希望される方は、相談センターまでお電話ください。



●暮らしとこころの県民ふれあいフェスタ総合相談会 のご案内

11月2日(土) 11時から16時 埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)



※「暮らしとこころの相談会」とは、2010年4月から「夜明けの会」が埼玉県から受託している事業で、毎月2回大宮駅西口徒歩1分のJACK大宮5階で行われています。困りごとをひとり抱え込むのではなく、気軽に足を運んでいただければ嬉しいです。(相談無料・お問い合わせ番号 048-782-4675) 今年の開催日は11月1・15日、12月6・20日

“見捨てるな、孤立させるな、よりよって生きよう”をスローガンに「第39回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会 in 埼玉」が開催されます。当日は誰でも参加できるイベントが盛り沢山です。

まずは、様々な悩みや困りごとについて弁護士や司法書士、社会福祉士などがお話を伺う総合相談会が開かれます。何か気にかかることがある方はぜひこの機会を利用してください。同時に、展示コーナーや、太鼓集団や伊奈学園総合高校音楽部のステージ、伊奈物産展、全国のうまいもの物産展、人気駅弁祭りが開催されます。飲食可能な交流の場も設けられていますよ。会場には「福玉交流の場」というブースを出します。そこでお待ちしています。ぜひお気軽にお寄りください。(福玉便り編集部・薄井)

福玉支援センター講座

「アサーティブ・トレーニング」を開催しました。

10月5日(土) 市民会館うらわ

つい言いすぎてしまった、もつとはつきりものが言えたらいいのに、上手に断れるようになりたい・・・なんて思うことありませんか。そのコツを教えてくださいるのが「アサーティブ」だと知り、今回の講座を企画しました。人との会話に不安がなければ、生活も楽になるんじゃないかなと思うからです。

「アサーティブ」とは、自分の意見を押し通すことではなく、自分の気持ちや意見を、相手の気持ちも尊重しながら、誠実に、率直に、そして対等に表現すること。でもどうやってたらそんなふうにコミュニケーションすることができなのでしょう。

臨床心理士/産業カウンセラーの中川浩子先生からは、アサーティブの基礎となる考え方を学びました。自分の気持ちを上手く伝えることができるのは、「性格」というより「フセ」の問題であること。だから

トレーニングで身につけるとができるんですね。まずは自分の伝え方のクセを知ること。そして適切に伝えるコツを学んでいくこと。当日は参加者3人で実際に練習してみました。すぐに自分のクセを変えるのは難しいですが、ちょっとしたコツを意識することはできそうです。

でも、大事なことは、表現が多少下手でも、誠実で真摯な言葉は相手の心を動かすということ。自分の気持ちに一致するような表情や態度、声のトーンを心掛けることで想いは自然と伝わりますよ、という先生の言葉を聞き、まずは一呼吸置いて自分の気持ちを感じることが心掛けようと思いました。

年が明けてからもう一度開催する予定です。次号では案内できると思いますので、ぜひお気軽にご参加ください。

(福玉支援センター・薄井)

鎌倉守保さん(福島県いわき市・埼玉県戸田市)

鎌倉さんは、東日本大震災のあと、JR竜田駅に勤めていらっ

しゃった方です。現在は、退職されて、福島県いわき市と埼玉県で旅行業を営んでいらっしやいます。鎌倉さんのいわき市赤井のご自宅は、今回の台風19号で被災されてしまいました。台風から5日目の10月16日、片付け作業の大変な中でしたが、お話を伺いました。



の午後、竜田駅に勤務していた頃に、花を植える活動を通じて知り合った植葉町の友人のところにいき、

そのまま夜を超えて、翌朝自宅に戻れなくなってしまいました。とにかく雨がすごかった印象です。

なんとか自宅に戻ると、床上浸水してしまっていました。いま、その片付けをしています。玄関箱、靴、冷蔵庫などもダメになってしまいました。周囲の人の話に聞くと、1メートル50センチまで水が溜まってしまったそうです。

台風の前日、10月11日の夜に埼玉県を出て、いわき市の自宅に着いたのですが、12日

今日は台風から5日目ですが(10月16日)、福島県では27人も亡くなった人がいる

のに、報道が少ないような気がしています。もちろん、千曲川や、大きな被害を受けたところも必要ですが、やはり、細かいところも報道することが大切ではないかと感じているところです。

いわき市では台風による断水が続いています。今日からいわき市の温泉街で入浴の無料サービスが始まるということでしたが、もっと早く始めてくれたらよかったなあと感じます。植葉町の天神の温泉は、一昨日から入浴サービスが始まっています。やっぱり、お風呂には入りたいですね。お風呂、トイレがどうしても断水になると大変です。

あとは、人手が足りていないのかな。ボランティアさんの情報は、今のところ私のほうにはきていません。それから、消毒関係。水害のあとに、家屋を消毒しないとけないようなのですが、いわき市のほうからの連絡がありません。「乾いたら、この地区、この地区から消毒します」というような情報がほしいなと思います。

床上浸水してからは、すぐに携帯で写真を撮り、支援を受けるために必要な罹災証明を取りに行きました。しかし、いわき市は「準備をしているから」と言って、すぐに発行してくれない経緯もありました。行政には、重要な情報はすぐに届けてほしいと思います。

一つ、気になっているのは、植葉町では水道が使えなくなっていることです。町ははつきりしたことは言わないのですが、木戸ダムのダム底にたまっていった放射性物質が攪拌されてしまったのではないかと考えています。東京電力は「大丈夫です」と言うのですが、どうしても信用できません。

私はJR職員でしたから、国鉄の超過債務を今もJRが払っていることを知っています。でも、東京電力は税金で救われている。そこは疑問に思うところです。よく「怒って何になるの」と言われることがあります。そういう「怒り」は政治に反映されるから大切ではないかと思うんです。

災害があっても、また生活するしか、頑張るしかないんですね。落ち込まないように、笑いながら作業をしています。この現状が、多くの人に伝わってほしいと思います。

(聞き手・編集部吉田)



●YUKARI が歌う 9 年目の"福島" ～想い続ける 3.11 原発避難者の今～

12月21日(土)13:30 開場 14:00 開演 入場料 1,000 円
ウエスタ川越・多目的ホール

第1部 YUKARI リサイタル ～想いを歌に

第2部 トークセッション ～原発避難者と語る

主催:原発避難者と歩む@川越後援:ここカフェ@川越

チケット販売所:「くるみの木」「アトレ1階福祉の店」

連絡先:080-5089-7344/nionio009@gmail.com/池田

070-5080-4494/bxyxy915@gmail.com/鈴木

YUKARI 福島県いわき市生まれ

作品:地元ピアノBARで専属歌手として活躍。レストラン・病院・イベント等のコンサートに出演。2011年の東日本大震災で被災。子供たちと東京へ避難し、しばらく音楽活動の休止を余儀なくされる。2012年、音楽活動を再開。2013年4月、初めての作詞作曲オリジナルアルバム「MY LIFE」は、ふるさと「いわき市の海」を思い出して作られたもの。皆その歌声に魅了させられる。



●ふくしま避難者交流会

日時 令和元年12月21日(土)14時～

場所 東京国際フォーラムホールD5(D棟5階) 東京都千代田区丸の内3-5-1



福島県から避難された方を対象に、交流会を行います。個別相談やステージショーも行いますので、是非会場にお越しください。

以下の市町村職員が参加予定です。ふるさとの現状等を知ることができる機会ですので、お気軽にお越しください。○福島市○郡山市○いわき市○南相馬市○富岡町○大熊町○双葉町○浪江町

●内容

▼個別相談会

原子力損害賠償・廃炉等支援機構(弁護士)による専門相談/福島県居住支援協議会による住宅再建等相談/除染に関する相談/就学に関する相談/復興公営住宅に関する相談/総合相談

▼ステージショー

MJCアンサンブル(南相馬ジュニアコーラス)による合唱演奏

▼展示ブース

避難された方や、支援されている方が製作した小物類/情報紙等の展示

●事前申し込み不要



●会場のご案内

東京国際フォーラムホールD5(交流会、個別相談会)東京都千代田区丸の内3-5-1

《最寄り駅》地下鉄/有楽町線有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)、日比谷線銀座駅徒歩5分/日比谷駅徒歩5分、千代田線二重橋前駅徒歩5分/日比谷駅徒歩7分、丸ノ内線銀座駅徒歩5分、銀座線銀座駅徒歩7分/京橋駅徒歩7分、三田線日比谷駅徒歩5分、JR線/有楽町駅徒歩1分、東京駅徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

●主催:福島県

共催:公益財団法人さわやか福祉財団、東京都

●連絡先

福島県避難地域復興局避難者支援課(担当:山田)
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16(本庁舎5階)TEL:024-523-4157

同日開催

ふくしま大交流フェスタ 2019

-ALL FUKUSHIMA FESTA-

11時～17時 東京国際フォーラム ホールE
県産品の展示・販売、伝統工芸体験コーナーなど

忘れない、支えたいという気持ち

『福玉便り』の原動力です

福玉便りも今号で80号となりました。昨年から隔月発行となったため、80号に達するのが当初の予定より少し後になりましたが、コツコツ続けてこまできました。発送日に何百もの封筒を見送るたびに、今回も無事に発行することができました・・・と深い安堵を覚えます。『福玉便り』は実に多くの方々の協力によって出来上がっている

ので、責任重大です。『福玉便り』がどのように編集から発行までの過程を辿っているかについては第50号発行記念の時にイラストでご紹介いたしました。今回はそれ以外の点、経費について紹介いたします。経費はどうしているのですか？とよく質問されることがありますので。とは言っても、具体的な金額を開示するのではなく、この点も実に多くの方々、団体によって支えられている事実をお伝えたいのです。

一番目にお伝えしたいのは

『福玉募金』です。ホームペー

ジにも福玉募金へのお願いを掲載していますし、年度初めには振込用紙を同封させていただきました。それらを見てすぐに送金してください。時期に関わらず送金の方、時期に関わらず送金してください。毎年送ってくださる方々もおられます。いづれも大変ありがたく、この場で改めて感謝申し上げます。募金だけではなく、払込取扱票に書かれた「楽しみにしています」「これからも続けてください」との言葉に私たち編集部はいつも励まされています。今回、いくつか紹介させていただきます。

添えられた「ひとこと」

- ・私も故郷に帰れずにホーム暮らしになりました。みんな自分の町に帰れるといいねと願います。
- ・浪江町出身の父が亡くなり、3年になります。父の思いを胸に常も読ませていただいております。
- ・生きている限り、福島で起きたことは忘れないように

しようと、いつも思っています。

昭和49年生まれです。私の中では、福島原発事故が生きてきた中で最も大きく深く考えていかなくてはいけな事件です。これから

・一人一人がしっかりと自立して生活をしていきますように。

・声を潜めている人、一人で行動できない人、皆でつながりたいですね。

・原発事故の地に帰るべきかどうか日々悩まれている事を思うと苦しくなります。『福玉便り』が届いて少しでも心が暖かくなれば、と願うばかりです。

・避難されてご苦労されている皆様を少しでも応援できれば、と思っています。

・わずかですが、何らかの役に立てれば幸いです。

・もうすぐ8年経ちますが、まだまだ困難な状況は続いていると思います。応援しています。

・あれから8年、私にとってまさざまな思い出の日でした。みんなで元気を出しましょう。

・自分たちの活動に参加した方々から寄付させていただけます。

・市役所サッカー部創部50周年記念祝賀会で集めた募金です。少しでもお役に立てれば、と思います。

どの「ひとこと」も、それぞれの立場からの想いが伝わってきて、胸に沁みます。もちろん「ひとこと」が書かれていなくとも、募金そのものがエール（声援）だと受け止めています。

生活協同組合さん（コープみらい埼玉県本部、生活クラブ埼玉、パルシステム埼玉）からの支援金

埼玉県内の避難者支援活動は県内の様々な生協さんからの支援・助成を受けてここまで継続することができました。毎号の記事でもそのことは伝わっていることと思います。今年度の発行に際しても「東日本大震災復興支援金」として大きな力添えをいただいています。それらも各生協の組合員さんたちの募金等によるものです。

社会福祉法人埼玉県共同募金会 赤い羽根募金

今まで様々な助成金によって発行を継続してきましたが、昨年度からは埼玉県共同募金会の赤い羽根募金より助成金を得ています。こちらでもまた県内での多くの地道な募金活動によるものです。昨年度から「地域から孤立をなくそう」が募金のテーマになっています。表紙にある赤い羽根のマークを見るたびに『福玉便り』もそうした役割を果たしたい、との思いが強まります。

もちろんこれら以外にも様々な寄付や援助を受ける機会に恵まれています。今回は主な3つを紹介しました。『福玉便り』は「避難者」「支援者」を超えて、震災・原発事故を忘れず、被災・避難の生活に寄せてくださったという気持ちで成り立っていると言えます。私たち編集部はそのことを忘れずに、これからも大切に使わせていただきます。ひとりひとりの思いがカタチとなった『福玉便り』が必要な方に届くことを願っています。

（編集部・薄井）

台風19号に寄せて

このたびの台風19号に伴う大雨および強風によりお亡くなりされた皆様と御遺族に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。また被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。

台風19号が過ぎ去って数日が経ちましたが、いまだ被害の全容が明らかになっ

てはおりません。東北、関東各地では豪雨による土流や土砂によって多くの家屋が流され、浸水しました。皆様が無事におられた（また、今住んでおられる）町、よく通った道、親せきや知人が住んでおられる地域の、見慣れたのどかな風景が一夜にして泥一面に変わってしまい、つらい思いを抱えておられるのではないかと思います。

河川の氾濫に伴う浄水場の冠水などで、福島県でもいわき市や南相馬市など各地で上下水道が使えない断水状態が続いています。鎌倉さんのお話や現地の写真

からその様子が生々しく伝わってきました。段々と気温が下がってくる中で給水所に並んだり泥を掻き出したり避難所での生活を余儀なくされておられることを思うと胸が痛むばかりです。一日も早く平常通りの生活に戻られますことを心より願っております。

警戒アラームが鳴る中で不安な一夜をすごし、その後もテレビや新聞などで被災地や避難所の様子を目にする中で、精神的に落ち着かない、昔のことを思い出してつらい、と感じておられる方も多いのではないのでしょうか。心をリラックスさせるためにも、誰かにその不安な気持ちを話してみるのがいいかと思ひます。相談センターではいつでもお電話をお待ちしております。お気軽におかけください。0120-607722（月～金、9～17時）

埼玉県では台風19号に関する災害情報相談センター

を設置しています。県内の被害状況や注意等など災害情報に対して気にかかることがございましたらお問い合わせください。

県民相談総合センター内（県庁第二庁舎一階）
048-830-7830
（9時00分から17時15分まで）

●「川の国・埼玉県の水防対策

今回は、埼玉県でも川が決壊し、多くの住宅が浸水しました。昨年の9月&10月号では、西日本豪雨の被害を受けて、「風水害について」という記事を掲載しました。そこにも書きましたが、埼玉県は生活の身近に川があり、県土に占める河川面積の割合が日本一（3.9%。河川面積150平方km）、荒川の川幅も日本一（東京スカイツリー4つ分の長さ）と二つの日本一があるため「川の国・埼玉県」と称しています。「海はないけど日本一の川がある」がキャッチフレーズです。

豊かな川、水辺の魅力を十

分味わえる分、水害・土砂災害にみまわれてきました。河川の改修がある程度進んだ近年においても、新たに市街化された地域を中心に被害が生じており、平成27年度か

3日以上の水・食料の備蓄法①

●飲料水の備蓄量



1日1人3リットル、最低3日分、できれば7日分を用意しておく。

●あわせて、自宅近くの給水ポイントもチェックしておこう。

●7日間備蓄を実現するための知恵

冷蔵庫・冷凍庫にある傷みやすいものから食べ、非常食はその後で食べるようにしましょう。

冷蔵庫・冷凍庫にあるものを食べる

普段から冷蔵庫・冷凍庫に食材を多めに買い置きしておく。停電時は、クーラーボックスに保冷剤と食べものを入れて保存する。



「ローリングストック法」で備蓄した非常食を食べる



ローリングストック法については次ページで紹介。→



●自分の暮らすまちの災害リスクを知ろう

地震による揺れや危険度を地図上に表したハザードマップは以下のURLからご覧になるか、各市町村にお問い合わせください。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/jishinhazado.html>

発行元：埼玉県危機管理防災部危機管理課
問合せ：電話 048-830-8141
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/itsumobo-sai.html>
平成27年11月制作（平成30年7月更新）
企画・制作：NPO法人プラス・アーツ デザイン：文平銀座・北谷彩夏

埼玉県のマスコット「コバタン」

ら3年連続で大規模な浸水被害を出しました。現在は「施設では守り切れない大洪水は必ず発生するもの」へ意識を変革し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。（県のホームページより）

各市町ではわかりやすいハザードマップの作成や迅速な情報提供というソフト

対策を進めています。私たち住民としては、住んでいる地域にはどのような風水害の危険性があるのか、日頃からハザードマップで身の回りの浸水の危険箇所や避難場所を再確認しておきましょう。ハザードマップは、お住まいの市町のホームページや窓口で確認することができます。埼玉県防

災情報メールを利用すると、気象情報や避難情報が携帯電話のメールで受け取れます。利用方法などはこちらで確認してください。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/903-20091202-28.html>

●大切な命、自分の命を守るために備えましょう

これからも災害がいつどのような形で起こるかわかりません。日常的な心構えや対策（備えで自分の命を守りましょう）。

水や食料の備蓄という「自助」の努力も大事ですが、自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合う「共助」が必要となります。災害時

（編集部・薄井）

東電刑事裁判の無罪判決について

前号でご紹介した東電刑事裁判。9月19日はたくさんの方が詰めかけ、傍聴券配布数は800人を超えていました。注目の判決は、東電幹部3名に対し、無罪。この判決には多くのことから疑問の声が上がっています。

政府地震調査研究推進本部の長期評価（ある地域にどの程度の確率でどのような地震が起きるかを予測した評価結果）に基づき、東電

の土木グループは、福島原発に津波対策を講じるべきであると、東電の役員に進言していました。しかし、コスト面、また、大規模な工事による地元自治体からの原子炉停止要請を恐れ、対策を先送りしていました。このことは、裁判において、多くの証拠から明らかになっていったのです。

しかし、判決は、「見る証拠」「見ない証拠」を分けた

かのように、まるで無罪に導くような不可解なものでした。指定弁護士の石田氏は、会見で「国の原子力行政に対する忖度判決」という

言葉を使っています。判決の要旨を読むと、気がつくことがあります。真つ先に気がついたことは、原発事故において亡くなったしまった方々への言葉が、ほとんどないこと。つまり、原発事故の「被害」の部分で記述がほとんどないのです。本来、この裁判に限らず、「被害」の認定はとても重要で

きですが、それだけではなく、人生丸ごと、狂わされてしまった人々が何万人もいる問題です。双葉病院の避難の過程で起きた悲劇のその奥にも、たくさん一人一人の人生の喪失があります。それを防げたのに、防がなかった責任は、大変大きなもので、無罪に納得できない人が多いのも当然です。そして、あれだけ「五重の壁で防護されているから安全」「事故は絶対に起きない」と地域の人々に喧伝され続けていたのなら、本当に事故は起こしてはならなかったはずで

9月30日には、検察官役の指定弁護士は、無罪とした東京地裁判決を不服とし、東京高裁に控訴しています。今後も注目の裁判です。（編集部・吉田）



1日(日)	
2日(月)	28
3日(火)	
4日(水)	14
5日(木)	
6日(金)	
7日(土)	8
8日(日)	
9日(月)	
10日(火)	
11日(水)	
12日(木)	19
13日(金)	
14日(土)	
15日(日)	5 15 27 32 1
16日(月)	
17日(火)	3
18日(水)	
19日(木)	1
20日(金)	
21日(土)	28
22日(日)	25
23日(月)	
24日(火)	
25日(水)	
26日(木)	
27日(金)	
28日(土)	
29日(日)	
30日(月)	
31日(火)	

12月



1 福島原発事故責任追及訴訟 第28回期日
 訴訟後の報告集会では、当日の法廷でのやりとりを分かりやすくご説明します。ぜひ一度傍聴にお越しください。
 12/15(水) 14:00開廷、さいたま地裁101号法廷
 裁判終了次第集会、埼玉総合法律事務所3F会議室 <http://fuku-saishien.com/>
 048-960-0591(みさと法律事務所)

19 さいがい・つながりカフェ
 月2回木曜日11:00~15:00
 11/28(木)、12/12(木) 11:00~15:00
 With Youさいたま4F和室
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
 04さいがい・つながりカフェ ☎048-601-3111、tunagari.saitama@gmail.com

24 新座さいがい・つながりカフェ
 新座市 ☎090-2402-9155(谷森さん)

25 青空あおぞら
 11/24(日)、12/22(日) 13:30~16:00
 新所沢公民館(司法書士参加)
 所沢市 ☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

27 おあがんなんしょ
 11/17(日) クリスマス・アレンジ作り 12/15(日) クリスマス会&年忘れ会 13:00~ フクトピア
 ☎090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
 11/8(金) 郷土料理 ランチカフェ木ぐらし
 11/10(日) モルゲン先生と学ぼう(ドイツの環境教育) 13:30~15:30 参加費1家族 300円
 12/2(月) キャンドルナイト冬至 福島を想う 11:00~13:00 ばる★てらす5階調理室
 12/21(土) YUKARIが歌う9年目の「福島」~想い続ける3.11 原発避難の今~ 詳細は4ページ ☎070-5080-4494(鈴木さん)

29 鳩のつどい
 月2回 10:00~12:00
 JAXA鳩山宿舎108号室
 ☎049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

32 玉兔の会
 11/24(日)、12/15(日) 10:30~12:00 With Youさいたま和室
 ☎090-6128-1948(小林さん)

33 つながり
 奇数月第一土曜日(1月は休み)
 毛呂山中央公民館
 毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)

5 すくすくのおそび広場
 すくすくのおそびひろば(昼食付、要予約)
 11/24(日)10:30~14:00 不動岡公民館
 12/15(日)10:30~14:00 北川辺ライスパーク
 小中高生勉強会(学習支援・軽食付き、無料、見学可)
 毎週木曜 17:00~19:00 市民プラザかぞ5Fと4F 冬休み初めには、集中勉強会も開きます。
 090-2411-8598(戸恒さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
 11/9(土)、12/7(土) 定例会合 10:00~12:00
 シラコバト団地第一集会室
 上尾市 ☎048-607-6723(団地自治会事務所)、☎080-3091-6215(橘さん)

10 くまがや結の会 熊谷市
 11/17(日) 「信州りんご狩りと小布施で食べ歩き」バスツアー 12月 年忘れ会企画中
 090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
 ☎080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
 久喜市 ☎090-6855-7140(木幡さん)

13 いきがいサロン
 県外避難者生活相談(無料)何でもスマホ・パソコン相談(500円)
 毎週火曜日11:00~15:00
 0480-31-0055(すぎとSOHOクラブ小林)

14 春日部つながりカフェ
 11/6(水)、12/4(水) 13:30~16:00
 コーププラザ春日部(司法書士参加)
 ☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

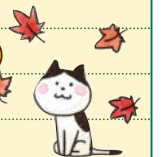
15 ひだまり広場
 11/17(日)、12/15(日) 13:00~16:30
 ほっと越谷 参加費無料
 ☎090-8613-1284(佐藤さん)

16 あゆみの会
 越谷市 ☎090-9425-2001(石上さん)

17 つながりの会
 東北復興支援販売 草加市物産・観光情報センター
 ☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

18 ひまわりの会
 ☎080-5431-0123(島田さん・留守電)

1日(金)	
2日(土)	
3日(日)	
4日(月)	
5日(火)	
6日(水)	14
7日(木)	
8日(金)	28
9日(土)	8
10日(日)	28
11日(月)	
12日(火)	
13日(水)	
14日(木)	
15日(金)	
16日(土)	
17日(日)	10 15 27
18日(月)	
19日(火)	3
20日(水)	
21日(木)	1
22日(金)	
23日(土)	
24日(日)	5 32 25
25日(月)	
26日(火)	
27日(水)	
28日(木)	19
29日(金)	
30日(土)	



1 双葉町民による ボランティアカフェ
 11/21(木)、12/19(木) 10:00~15:00
 いきいきサポートセンター(司法書士、臨床心理士参加)
 ☎090-8879-0213(SSN・愛甲)

3 双葉町老人クラブ女性会 &さいがい・つながりカフェ
 11/19(火)、12/17(火) 10:00~12:00
 いきいきサポートセンター
 ☎080-5532-7380(薄井さん)

4 加須ふれあいセンター
 加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

『福玉便り』編集委員会 連絡先: NPO法人埼玉広域避難者支援センター
 電話080-4331-0290 メール: fukutama@431279.com
 こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。

福玉便りの全バックナンバーのデータ、最新情報はNPO法人埼玉広域避難者支援センターのホームページにあります。→ <http://fukutama.org/>